

令和7年度 秦野曾屋高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上	法令順守意識の向上に努め、公務外非行を防止する。	一人ひとりの職員が教育公務員としての誇りを持ち、常に高い倫理観と使命感のもとに行動することを心掛け、法令を遵守した。
職場のハラスメントの防止	ハラスメント行為のない学校、職場を実現する。	セクハラ、パワハラがない職場づくりのため、不祥事防止研修のほか、管理職が職員の面談を随時実施し、悩みを一人で抱えないように気を配った。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為のない学校を実現する。	生徒の指導に際しては、複数人で対応するなど組織的な対応を徹底した。不祥事防止研修を実施するほか、管理職が校内を巡回し、教員・生徒の様子を把握するとともに、準備室の使用状況についても点検した。生徒の連絡先の収集は最小限にとどめ、LINE等の手段は用いないことを徹底した。
体罰・不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切な指導のない学校を実現する。	不祥事防止研修を実施するほか、全生徒対象のアンケートを実施した。生徒の相談窓口を周知するとともに、教員間で相互チェックが働く体制を整備した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る体制と手順を明確にし、事故を防止する。	出願システムのマニュアルを理解し、それに則った業務を徹底し、複数で点検・チェックを行い、確認作業を徹底することで事故防止に努めた。進路関係書類については、当該グループによる作業手順書に従って、担任と副担任で協力して業務に当たり事故を防止した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報などを適切に管理するとともに、情報セキュリティの日常的な管理と事故防止を図る。	個人情報の収集や保管、持ち出し及び返却について適正な手続きを徹底することで事故を防止した。重要度に応じてファイル管理を徹底し、個人情報の流出等を防止した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転の防止、交通法規の順守	生徒に交通安全教育を行う側としての自覚をもち、自ら交通違反・交通事故を起こさない。	安全運転を心掛け、時間と気持ちに余裕をもった安全運転を励行するとともに、飲んだら乗らない、運転しないを徹底し、交通法規を遵守することを徹底した。
業務執行体制の確保	業務の執行に当たり、複数人での点検体制により事故の未然防止に努める。	担任と副担任、教科担当者間で業務の進捗状況等を共有して、業務の進捗状況を常に確認するとともに、事故の未然防止に努めた。
会計事務等の適正執行	私費会計基準を遵守し、適切で円滑な会計処理に努める。	私費を適正に執行し、各帳票を適正に作成した。また、購入した物品の現物確認を徹底した。

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

わいせつ事案の根絶を最重要課題と位置付けた県の方針を踏まえ、本校でも、日常的に職員や生徒からの情報に耳を傾けるとともに、敷地内外の巡視を実施した結果、わいせつ事案は発生しなかった。今後もこの取り組みを続けるとともに、朝の打合せや職員会議の時間等を効果的に使い、随時教員としての自覚、意識を高めていきたい。

令和8年度においても、これらの取組を継続し、教員や生徒からの情報により学校の課題を把握して、事故・不祥事の未然防止に向けて、周囲の状況や指示を待つのではなく、自ら率先して将来の課題を想定し、先手を打って環境や現状に変化をもたらす「能動的・主体的」な行動する(＝プロアクティブな)職員集団を目指したい。